

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：交通指導取締費

| | | |
|------------|----------|---------------------|
| 事業名 | 新 | 大規模災害対策強化事業費 |
|------------|----------|---------------------|

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 警備部 警備第二課 電話番号：058-271-2424 (内 5761)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 **12,360 千円 (前年度予算額：0 千円)**

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 12,360 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12,360 |
| 決定額 | 12,360 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12,360 |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

警察は、東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故レベルの原子力災害が発生した場合、避難誘導、被害の拡大防止等の災害警備活動を行う必要がある。

平成25年に岐阜県地域防災計画が示され、原子力災害の発生に備え、災害警備活動に携わる警察官に必要な防護対策キットを整備した。

防護対策キットについては、耐用年数が10年であるため、原子力災害対策警備活動に携わる警察官の安全確保のために、耐用年数を見据えた定期的な更新が必要である。

(2) 事業内容

原子力災害の発生に備えた防護対策キットの整備

(3) 県負担・補助率の考え方

県内での災害救助活動に関する事業であり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|--------|------------|
| 需用費 | 12,360 | 防護対策キットの整備 |
| 合計 | 12,360 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2)-④ 災害と危機事案に強い岐阜県づくり

事業評価調書（県単独補助金除く）

| |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業 |
| <input type="checkbox"/> 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 原子力災害の発生時においても、迅速・的確な救助活動が行えるよう防護対策キットの整備を5か年計画で整備していく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R2年度 実績 | R3年度 目標 | R4年度 目標 | 終期目標 (R) | 達成率 |
|-----|--------------|------------|------------|------------|-------------|-----|
| | | | | | | % |

○指標を設定することができない場合の理由

原子力災害発生時の救助・救出活動を行うために必要な資機材の整備を行う事業であり、目標を設定することは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|----------------------------|
| 令和2年度 | |
| 令和3年度 | 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___% |
| 令和4年度 | 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___% |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|--|
| <p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p> | |
| (評価) | 原子力災害時に必要となる資機材の活用は、被災地の人命に直結するものであり、必要性は高い。 |
| 3 | |
| <p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p> | |
| (評価) | |
| | |
| <p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p> | |
| (評価) | 5か年計画で整備を行い、経費の平準化に努めている。 |
| 1 | |

(今後の課題)

| |
|--|
| <p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 原子力災害現場で有効な装備資機材を整備するとともに、災害現場を想定した部隊訓練を行っていく必要がある。</p> |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 原子力災害現場における迅速・的確な部隊活動による人命の救助は、最優先されるべきものであり、活動に必要な装備資機材の整備を推進する。</p> |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|-------------------------------|-------|
| <p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p> | |
| <p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p> | 【〇〇課】 |